

“国民各位ニ訴フ”金融緊急措置に係る渋沢敬三蔵相談話(昭和21年2月16日)

皆サン、唯今、総理大臣ガ才話シニナラレマシタ通り、政府ハ、ナミナミナラ又決意ヲ以テ、敗戦日
本ヲ建テ直ス為ニ、各方面ニ亘ツテ、ホントウニ思ヒ切ツタ、シカモ、総合的ナ一連ノ緊急対策ヲ、断
乎トシテ、実施スルコトニ決意シタノデアリマス、今回政府ガ断行スルコトト致シマシタ政策ハ、物価
ヲ安定スルコトヲ主眼トシタ、極メテ広範囲ニ亘リ、シカモ、皆サンノ実生活ニ、何レモ切実ナ關係ヲ
持ツモノデアリマス。中デモ、金融非常措置ト、日本銀行券ノ預ケ入レニ関スル政策ハ、我々老若男
女、一人残ラズノ生活ニ、最モ關係ノ深い深刻ナモノデアリマス。ト申シマスノハ、皆サンガ、此ノ二月
十六日、即チ、昨日迄ニ、貯金ヲナサツテ居ラレタ貯金預金信託ナゾハ、皆サンガ、一定ノ生活ヲ維
持ナサレル為ニ必要ナ才金、例ヘバ、一家ノ世帯主ガ三百円、其ノ他ノ方ハ一人百円宛トイフヤウニ、
極ク、限ラレタ金額ノ払出シヲ認メラレル外ハ、原則的ニ、当分ノ間、自由ナ払出シハ禁セラレルコト
ニナツタノデアリマス。又皆サンガ、今日迄才使ヒニナツテ居ラレタ十円以上ノ才札ハ、来ル三月二日
一パイデ、以テ、凡テ、無効ニナルノデアリマス。

皆サン、政府ハ何故コウシタ徹底シタ、見ヤウニ依ツテハ乱暴ナ政策ヲトラナケレバナラナイノデセ
ウカ、ソレハ一ロニ謂ヘバ悪性インフレーショントイフ、国民トシテノ寒ニ始末ノ悪イ、重イ重イ生命ニ
モカカワルヤウナ病氣ヲナオス為ノ已ムラ得ナイ方法ナノデス。従来カラ、悪性インフレーショントイ
フ言葉ハ、我が国デモ盛ニ論セラレテ来マシタ。併シ乍ラ、ソレハ兎モスレバ第一次戦争後ノ「ドイ
ツ」トカ、又ハ最近ノ「ギリシャ」トカノ川向フノ火事ノヤウニ聴キ流サレ勝チデシタガ、ドウデセウ、
此ノ頃ノ我が国ノ国民生活ノ現情ハ、サラヌダニ無理ニ無理ヲ重ネテ来「我」ガ国ノ経済ハ、敗戦トイフ
悲シイ結末ニ伴ツテ、莫大ナ資源地帯ヲ喪失シ殊ニ食糧事情ハ逼迫シ、供出ノ不振、買焦リ、配給ト
物価体系ノ混乱トイツタヤウナコトカラ、物価ハ日ニ日ニ暴騰シ、通貨ノ発行高ハ六六六億円トイフ
一年前ニ比ベテモ三倍ヲ遙カニ越スヤウナ情況デ、我々ハ御互ニ毎日毎日ノ生活ノ苦シサヲ味ヒ抜イ
テ居ルノデス。シカモ此ノママデハ前途ニ光明ガアリマセン。此ノママニ放ツテ置ケバ、我が国民ノ生活
ハドウナルデセウ、否、我々ノ個人個人ノ生活ダケノ問題デハアリマセン。我が国家、我が民族ノ生命
ノ問題デス。私ハコウシタ有様ヲドウシテ切抜ケルカニ付テホントウニ悩ミ抜キマシタ。ソシテ出来ル
ナラバ手荒イ事ハセズニ、何トカシテ此ノ危局ヲ切り抜ケラレヌモノカト苦慮致シマシタ。前々カラ
新聞ヤ雑誌ヤ或ハ学界ヤ政界カラモ、才金ヲ封鎖セヨトイフ議論ヤ御意見ヲ、何度モ伺ヒマシタガ、
ソウシタ手荒イコトヲシテハ、何トシテモ国民ノ生活ハ窮屈トナリ、又折角伸ビカケタ産業ノ芽ヲツ
ムコトニモナリハシマイカト惧レタノデス。併シ、事茲ニ至ツテハ甘イ考ヘハ許サレマセン。国民ノ生活
ガ多少窮屈トナラウトモ、恐ルベキ悪性インフレーションノ惨禍ニサラスコトハ絶対ニ避ケネバナラナ
イノデス。丁度腕ヤ足ノ骨ヲ骨折シタ時、ギブスノベッドノ中ニ、暫ラクノ間極メテ不愉快ナ、而モ不
自由ナ生活ヲシナケレバ完全ニ癒着シマセヌ。此ノ闘病生活ニ打ち克ツテ、始メテ明ルイ思ヒノママ自
由ニ活動出来ル更生ノ生活ガ望メルノデス。政府ノ今度ノ金融政策ハギブスノベッドデアリマス。苦シ
イシカモ不自由極マル療法デス。コウシタ療法ヲ用ヒナケレバナラヌ程我が国ノ悪性「インフレーション」
ニ病ハ危険ナ症状ヲ呈シテ居リマス。

然シ此ノ苦シミヲ耐ヘ抜ケバ悪性インフレーションノ病氣ハナオルノデス。此ノ大病ハ国民全体ノ病氣デス。
従テ富メル者モ国民全体ノ自衛ノ為ニ、全国民ト一律ノ生活ニ徹シテイタダカナケレバナラヌノデ
ス。私ハ此ノ事ヲ強ク要請シ度イノデス。(以下略)

(出典)「昭和財政史 終戦から講話まで 第12卷(金融)」。